

D12 深層インタラクション

おすすめ

アバター共生社会実現に向けた海外での実証実験

概要

アバター共生社会プロジェクトでは、サイバネティックアバター(CA)を使って自在に活躍できる社会(アバター共生社会)の実現を目指しています。その一環として、日本と海外を繋いだCA利用に関する実験や、CAの社会受容性の文化差に関する国内外での実験を実施しています。ここでは、海外での実社会実証実験について紹介します。

特徴

- CAの社会実装に向けた実社会実証実験を2023年11月から海外の研究機関と連携して実施しています。2024年4月からはDubai Future Labs(ドバイ, UAE)と本プロジェクトの共同研究契約を締結し、海外での実証も本格化しました。
- 海外でのCAの実社会実証実験としては、日本と海外を繋ぐ技術的な実証実験、CAの国際利用に関する新しいビジネスモデルの実証実験、CAの海外での社会的な受容性を検証する実験などを実施しています。
- アバター共生社会企業コンソーシアム(略称:C-CAS2、145法人会員(2024年8月末現在))と連携し、研究、事業、社会制度の3つの観点で、CAの国際利用における可能性と実現性を検討していきます。



今後の展開

- CAの国際利用による国境を越えた新しいビジネスを生み出す DX = CAX(サイバネティックアバタートランスフォーメーション)を、企業・行政のみなさまとともに考え、CAの社会実装をすすめ、人々が自在に働き、暮らしを楽しむことができる社会を目指します。

テーマ「万博、そしてその先へ～科学技術が描く未来～」との関連

- アバター共生社会プロジェクトでは、大阪・関西万博での長期実証実験を計画しています。アバター共生社会企業コンソーシアムと連携して、本研究開発成果を活用した新事業創出と社会制度の策定を推進します。

